

生食用パイナップル新品種候補「沖縄6号」, 「沖縄7号」

栗国佳史・池宮秀和・仲宗根福則¹⁾・井上裕嗣
(沖縄県農業試験場名護支場・¹⁾沖縄県農業試験場八重山支場)Yoshifumi AWAGUNI, Hidekazu IKEMIYA, Fukunori NAKASONE and Hirotsugu INOUE:
Pineapple Selected Line Okinawa No.6, Okinawa No.7 for New Table Variety

近年、沖縄県の生食用パイナップルの生産は伸びてきているが、現在栽培されている品種は栽培性、収量性および品質の面で問題がある。よって、これらの問題を解決し、さらに高品質でパイナップル栽培地域に適応性の高い優良な生食用パイナップルを育成するため、農林水産省指定試験地として交雑育種を実施してきた。ここにパイナップル新品種候補として「沖縄6号」, 「沖縄7号」を選抜したので報告する。

1. 育成経過

1989年に103の組合せで交雑を行い、25,000余りの交雑実生を養成した。これを1992年に一次選抜、1994年に二次選抜、1995年に三次選抜、1996年に四次選抜を行い沖縄6～9号の4系統を選抜し、1998～2000年まで第2回パイナップル系統適応性検定試験を行った。その結果、外国導入の生食用品種‘クリームパイン’と‘McGregor ST-1’を交雑親にもつ「沖縄6号」, ‘クリームパイン’と外国導入の生食用品種‘HI101’を交雑親に持つ「沖縄7号」を選抜育成した。

2. 特性概要

1) 「沖縄6号」

露地栽培による自然夏実, 処理春実, 自然秋実, 自然冬実とも果形は円筒で、果皮は黄色、果肉は淡黄色である。自然夏実は、えい芽の発生数は適正だが吸芽の発生数が若干多い。糖度はそれほど高くないが、酸度が低いため、糖酸比が高く食味が良い(第1表)。処理春実は、えい芽の発生数は適正だが自然夏実と同様に吸芽の発生数が若干多い。高糖低酸で糖酸比が高く、食味が良い(第2表)。自然秋実は、自然夏実, 処理春実に比べると酸度が高いため、糖酸比が低いが、生食用としては問題ない(第3表)。自然冬実は、えい芽, 吸芽の発生が少くない。酸度が高く、糖酸比が低いので食味も劣り、生食用には適さない(第4表)。

2) 「沖縄7号」

露地栽培による自然夏実, 処理春実, 自然秋実, 自然冬実とも果形は円錐で、果皮は黄色、果肉は白色である。自然夏実は、えい芽, 吸芽とも発生数は適正である。糖酸比はそれほど高くないが食味は良い(第1表)。処理春実は、えい芽の発生数が少ない。酸度が高いが、生食用として食するには問題ない(第2表)。自然秋実は、酸度が高くなるため、糖酸比が低く生食用には適さない(第3表)。自然冬実は、えい芽, 吸芽の発生が少くない。酸度が高く、糖酸比が低いので食味が劣り、生食用には適さない(第4表)。

以上の結果より、「沖縄6号」は自然夏実, 処理春実, 自然秋実において次年度の株出しに用いる吸芽, 更新用の苗に用いるえい芽の数が十分確保でき、また果実品質も良い。よって露地栽培で5月中旬から11月中旬まで出

荷が可能であり出荷時期の拡大が期待できる。「沖縄7号」は「N67-10」を除く従来の品種よりも果実が大きく夏実で果実品質が良かったため夏向けの系統である。

第1表 沖縄6号, 沖縄7号の自然夏実における生育および果実特性(名護支場 平成9～10年度)

系統名	えい芽	吸芽	糖度	酸度	糖酸比
	発生数	発生数			
	(本)	(本)	(%)	(%)	
沖縄6号	2.7	3.2	16.2	0.52	31.15
沖縄7号	2.4	2.0	16.2	0.67	24.18
ボゴール	3.1	2.2	17.4	0.63	27.62
ソフトタッチ	5.4	0.8	16.2	0.65	24.92
ハニーブライト	5.5	1.5	17.3	0.67	25.82
N 67 - 10	1.3	1.4	14.1	0.69	20.43

注) 自然夏実: 自然条件下での花芽分化により夏期に着生した果実

第2表 沖縄6号, 沖縄7号の処理春実における生育および果実特性(名護支場 平成12年度)

系統名	えい芽	吸芽	糖度	酸度	糖酸比
	発生数	発生数			
	(本)	(本)	(%)	(%)	
沖縄6号	2.1	2.9	20.0	0.66	30.13
沖縄7号	0.1	1.2	17.9	0.98	18.36
ボゴール	0.8	0.8	20.1	0.87	23.24
ソフトタッチ	0.3	0.3	18.3	0.95	19.26
ハニーブライト	0.4	0.4	16.8	0.93	18.06

注) 処理春実: カーバイド溶液により花芽分化誘導処理し春期に着生した果実

第3表 沖縄6号, 沖縄7号の自然秋実における生育および果実特性(名護支場 平成11年度)

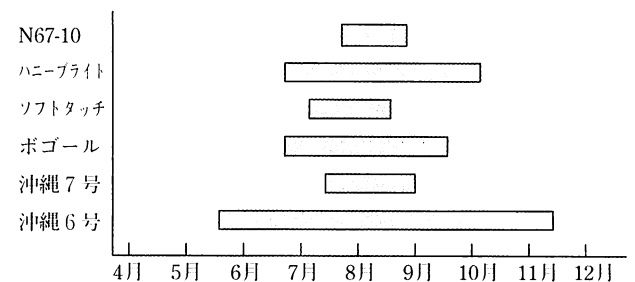
系統名	糖度	酸度	糖酸比
	(%)	(%)	
沖縄6号	18.4	0.87	21.15
沖縄7号	16.0	1.14	14.04
ボゴール	16.4	0.98	16.73
ソフトタッチ	16.9	1.14	14.82
N 67 - 10	14.0	1.31	10.69

注) 自然秋実: 自然条件下での花芽分化により秋期に着生した果実

第4表 沖縄6号, 沖縄7号の自然冬実における生育および果実特性(名護支場 平成11年度)

系統名	えい芽	吸芽	糖度	酸度	糖酸比
	発生数	発生数			
	(本)	(本)	(%)	(%)	
沖縄6号	1.3	1.3	17.0	1.14	14.91
沖縄7号	0.1	1.4	15.5	1.36	11.40
ボゴール	0.0	0.2	13.4	1.00	13.40
ソフトタッチ	3.4	0.0	15.5	1.19	13.03
ハニーブライト	1.5	0.0	16.0	1.14	14.04
N 67 - 10	0.0	0.0	14.6	1.40	10.04

注) 自然冬実: 自然条件下での花芽分化により冬期に着生した果実



第1図 露地栽培による品種別生食可能期間